美幌町における景気動向調査報告書
＜第Ⅱ四半期＞

美幌商工会議所

Ⅰ．調査要領

１．調査時点及び調査対象期間

（１）調査時点　令和５年７～１０月

（２）調査対象期間　令和５年４～５月期実績及び令和５年７～９月期の見通しについて調査した。

２．調査対象及び調査方法

（１）調査対象

会員事業所の中から小売業３５社、卸売業１０社、建設業２０社、製造業２０社、サービス業３５社(飲食１５社・飲食以外２０社)の５業種１２０社を対象とした。

（２）調査方法

調査対象に対し調査票を送付し、FAX または訪問による聴取により回答を頂いた。

３．業種別回答状況（事業所数）

企業数／業種	対象企業数	回答企業数	回答率
小売業	３５事業所	２２事業所	６２．９％
卸売業	１０事業所	６事業所	６０．０％
建設業	２０事業所	１３事業所	６５．０％
製造業	２０事業所	１１事業所	５５．０％
飲食業	１５事業所	９事業所	６０．０％
サービス業	２０事業所	９事業所	４５．０％
合計	１２０事業所	７０事業所	５８．３％

○ 本調査結果中の「Ｄ・Ｉ」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ．概況　≪全体の動き≫

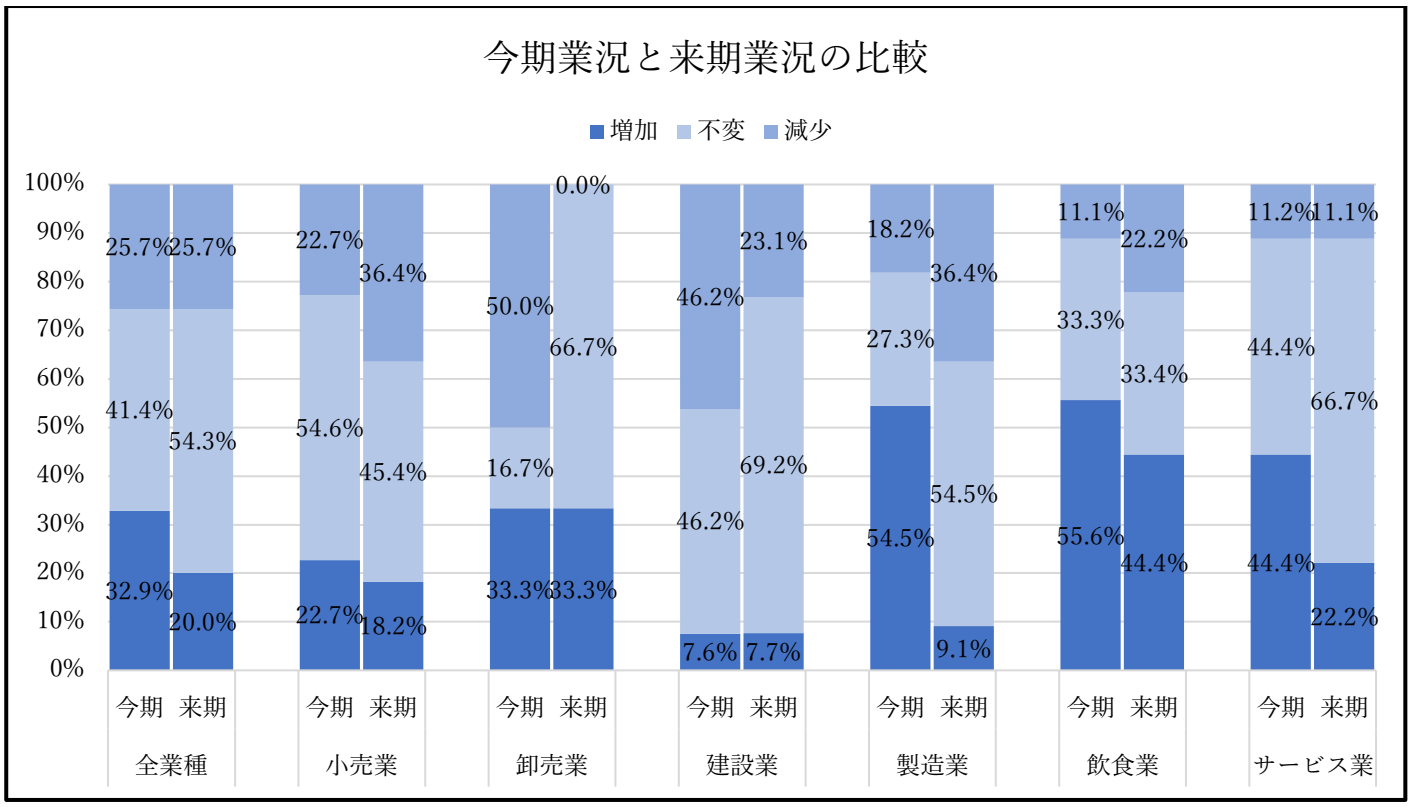
令和５年度第Ⅱ四半期（４月～６月）の美幌町における業況は、全業種で見ると前年同期比で「好転した」と答えた企業割合が３２.９％、「悪化した」と答えた企業割合が２５.７％、「好転」から「悪化」を差引いたＤ・Ｉ値は７.２となっており、前期より６.２ポイントの増加となった。

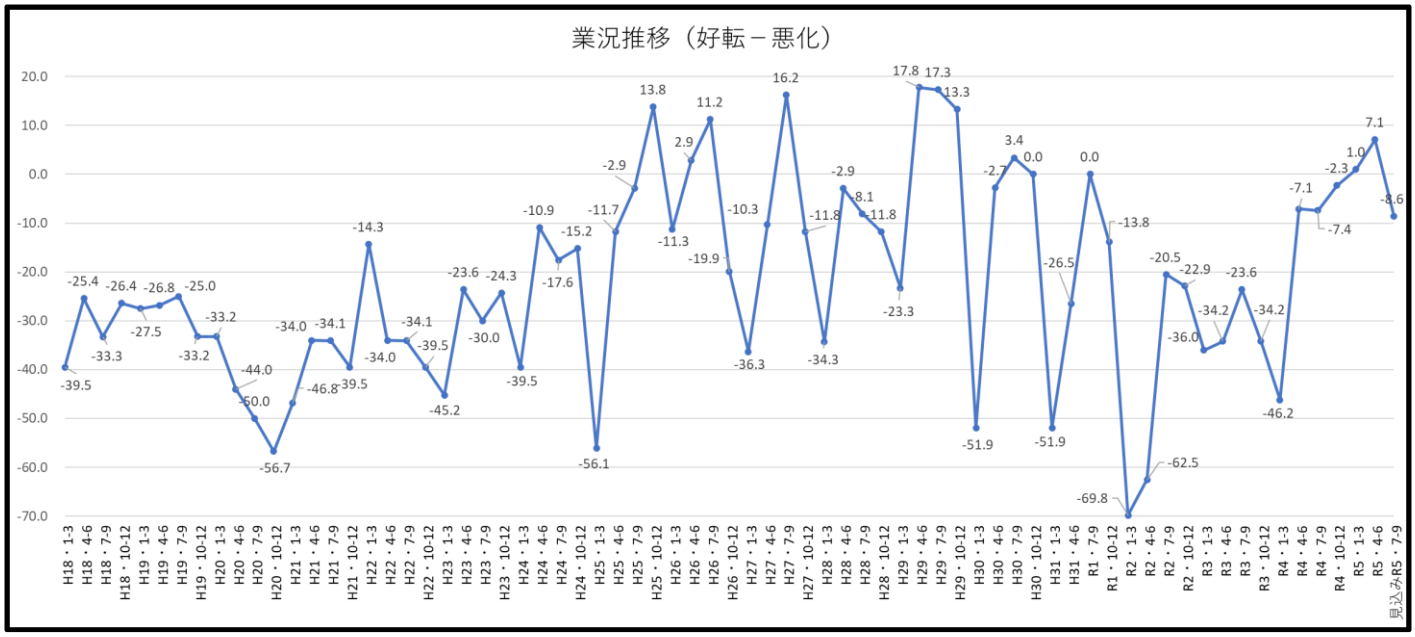
来期（７月～９月）業況の見通しを全業種で見ると「好転する」と答えた企業割合が２０.０％、「悪化する」と答えた企業割合が２５.７％であり、Ｄ・Ｉ値△５.７となっており、今期と比較すると業況がやや悪化していく傾向にあると予測しております。

各業種において、依然として資材・商品等の値上がりやエネルギー価格の高騰による「経費増加」が経営課題として多く、次いで「顧客需要の停滞・変化」、「人材不足」の回答が数多くありました。

業種別ＤＩ

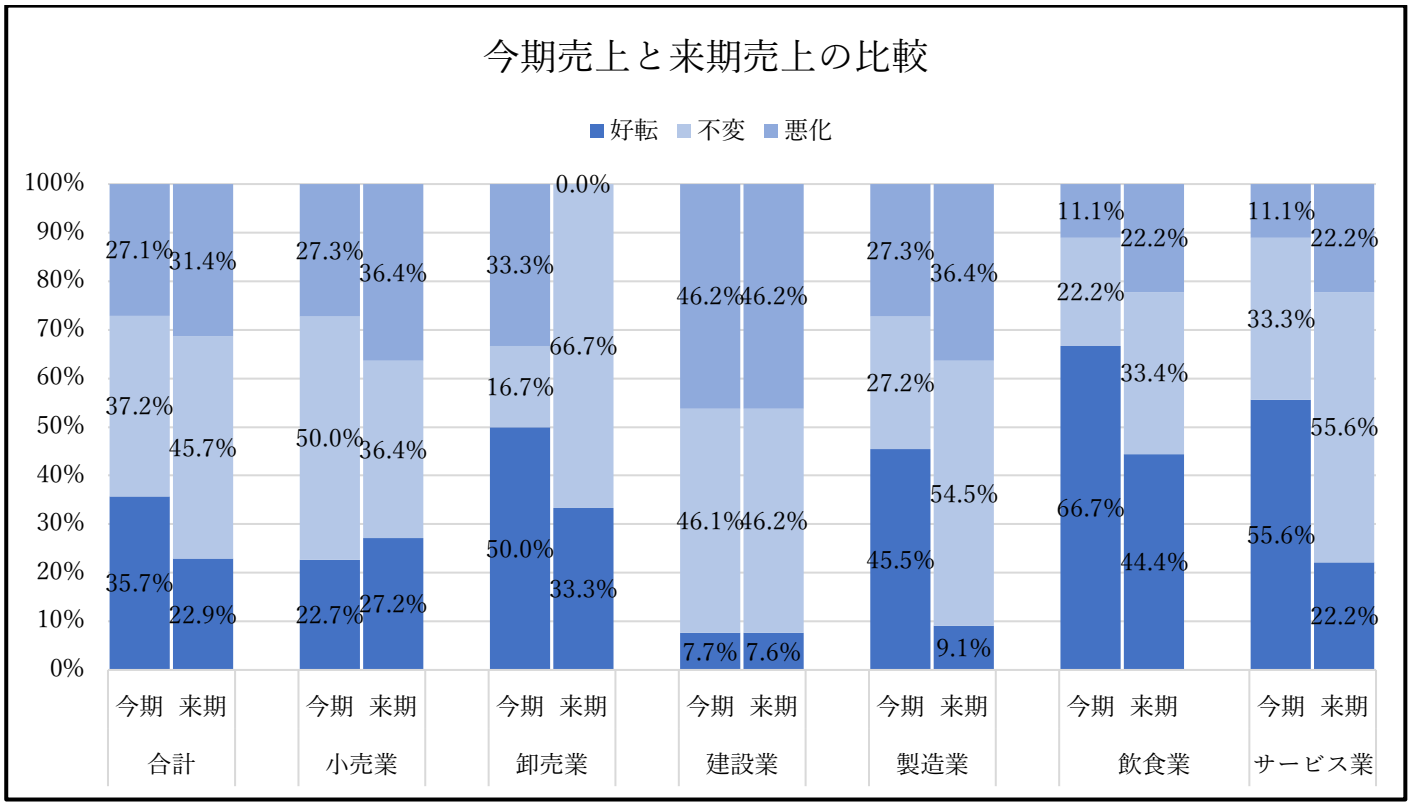
業　況（％）	今期（令和５年４月～６月）の実績（前年同期比）				令和５年７月～９月の見通し（今期比）			
	好　転	不　変	悪　化	ＤＩ値	好　転	不　変	悪　化	ＤＩ値
全　業　種	32.9	41.4	25.7	＋ 7.2	20.0	54.3	25.7	－ 5.7
小　売　業	22.7	54.6	22.7	± 0.0	18.2	45.4	36.4	－18.2
卸　売　業	33.3	16.7	50.0	－16.7	33.3	66.7	0.0	＋33.3
建　設　業	7.6	46.2	46.2	－38.6	7.7	69.2	23.1	－15.4
製　造　業	54.5	27.3	18.2	＋36.3	9.1	54.5	36.4	－27.3
飲　食　業	55.6	33.3	11.1	＋44.5	44.4	33.4	22.2	＋22.2
サービス業	44.4	44.4	11.2	＋33.2	22.2	66.7	11.1	＋11.1





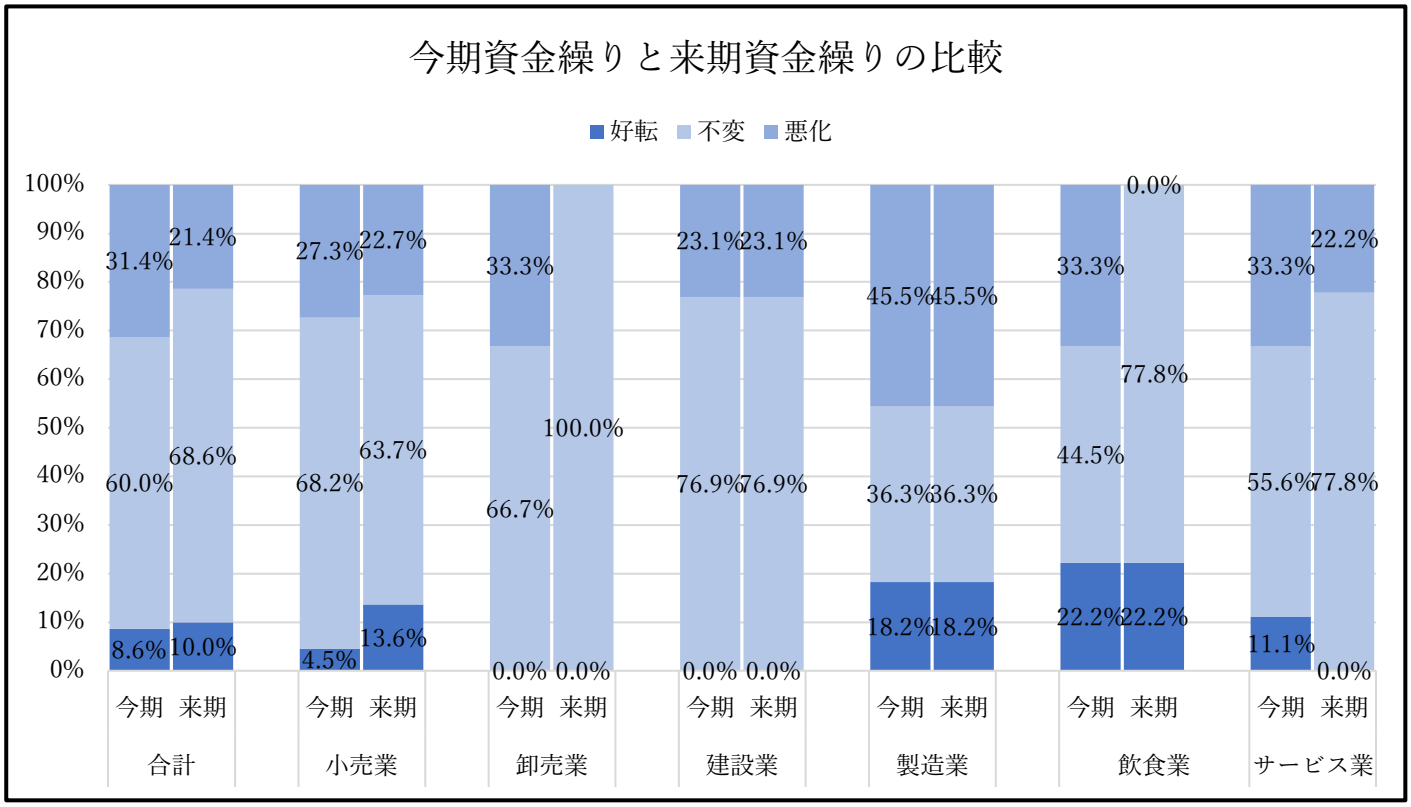
売上高（%）	今期（令和５年４月～６月）の実績（前年同期比）				令和５年７月～９月の見通し（今期比）			
	好転	不変	悪化	ＤＩ値	好転	不変	悪化	ＤＩ値
全業種	35.7	37.2	27.1	＋ 8.6	22.9	45.7	31.4	－ 8.5
小売業	22.7	50.0	27.3	－ 4.6	27.2	36.4	36.4	－ 9.2
卸売業	50.0	16.7	33.3	＋16.7	33.3	66.7	0.0	＋33.3
建設業	7.7	46.1	46.2	－38.5	7.6	46.2	46.2	－38.6
製造業	45.5	27.2	27.3	＋18.2	9.1	54.5	36.4	－27.3
飲食業	66.7	22.2	11.1	＋55.6	44.4	33.4	22.2	＋22.2
サービス業	55.6	33.3	11.1	＋44.5	22.2	55.6	22.2	± 0.0

※建設業は「完成工事高」、製造業は「生産高」を示す。



	今期（令和５年４月～６月）の実績 在庫水準(%)（前年同期比）				今期（令和５年４月～６月）の実績 採　算（％）（前年同期比）			
	好　転	好　転	不　変	悪　化	ＤＩ値	不　変	悪　化	ＤＩ値
全　業　種	9.8	70.7	19.5	－9.7	17.2	37.1	45.7	－28.5
小　売　業	4.6	81.8	13.6	－9.0	9.0	45.5	45.5	－36.5
卸　売　業	16.7	50.0	33.3	－16.6	16.7	16.7	66.6	－49.9
建　設　業	－	－	－	－	0.0	38.5	61.5	－61.5
製　造　業	18.2	63.6	18.2	±0.0	36.4	18.1	45.5	－9.1
飲　食　業	－	－	－	－	22.2	44.5	33.3	－11.1
サービス業	－	－	－	－	33.3	44.5	22.2	＋11.1

資金繰（%）	今期（令和５年４月～６月）の実績 （前年同期比）				令和５年７月～９月の見通し （今期比）			
	好　転	不　変	悪　化	ＤＩ値	好　転	不　変	悪　化	ＤＩ値
全　業　種	8.6	60.0	31.4	－22.8	10.0	68.6	21.4	－11.4
小　売　業	4.5	68.2	27.3	－22.8	13.6	63.7	22.7	－9.1
卸　売　業	0.0	66.7	33.3	－33.3	0.0	100.0	0.0	±0.0
建　設　業	0.0	76.9	23.1	－23.1	0.0	76.9	23.1	－23.1
製　造　業	18.2	36.3	45.5	－27.3	18.2	36.3	45.5	－27.3
飲　食　業	22.2	44.5	33.3	－11.1	22.2	77.8	0.0	＋22.2
サービス業	11.1	55.6	33.3	－22.2	0.0	77.8	22.2	－22.2



＜ 業 種 別 の 動 き ＞

1）小 売 業 売 上 高　前年比で「好転した」と答えた企業割合が２２.７％、「悪化した」と答えた企業割合が２７.３％、Ｄ・Ｉ値△４.６なっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が２７.２％、「悪化する」と答えた企業割合が３６.４％、Ｄ・Ｉ値△９.２となっており、前期に引き続き落ち込み傾向となっており、来期に関しても同じく厳しい状況が続いていく見込みとなっております。

資 金 繰　前年比で「好転した」と答えた企業割合は４.５％、「悪化した」と答えた企業割合が２７.３％、Ｄ・Ｉ値△２２.８、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が１３.６％、「悪化する」と答えた企業割合が２２.７％Ｄ・Ｉ値△９.１となっており、資金繰りについても仕入れ値の高騰や経費増加の影響もあり、厳しい状況が続いていくと予測されます。

2）卸 売 業 売 上 高　前年比で「好転した」と答えた企業割合が５０.０％、「悪化した」と答えた企業割合が３３.３％、Ｄ・Ｉ値１６.７となっており、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が３３.３％、「悪化する」と答えた企業割合が０.０％、Ｄ・Ｉ値３３.３となっており、前期に続き、落ち込んでいた売上が回復されていくと予測されます。

資 金 繰　前年比で「好転した」と答えた企業割合は０.０％、「悪化した」と答えた企業割合が３３.３％、Ｄ・Ｉ値△３３.３、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が０.０％、「悪化する」と答えた企業割合が０.０％、Ｄ・Ｉ値±０.０となっており、資金繰りについても、売上同様に緩やかな回復傾向となってきており、明るい兆しが見えていくと予測されます。

3）建 設 業 完成工事高　前年比で「好転した」と答えた企業割合が７.７％、「悪化した」と答えた企業割合が４６.２％、Ｄ・Ｉ値△３８.５となっており、来期の見通しをみると今期同様に「好転する」と答えた企業割合が７.６％、「悪化する」と答えた企業割合が４６.２％、Ｄ・Ｉ値△３８.６となっており、前期に引き続き落ち込み傾向が続いていくと予測されております。

資 金 繰　前年比で「好転した」と答えた企業割合は０.０％、「悪化した」と答えた企業割合が２３.１％、Ｄ・Ｉ値△２３.１、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が０.０％、「悪化する」と答えた企業割合が２３.１％、Ｄ・Ｉ値△２３.１となっており、資金繰りについても工事量が見込めない中、落ち込み傾向が続いていくと予測されております。

4）製　造　業　生　産　高　前年比で「好転した」と答えた企業割合は４５.５％、「悪化した」と答えた企業割合が２７.３％、Ｄ・Ｉ値１８.２、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が９.１％、「悪化する」と答えた企業割合が３６.４％、Ｄ・Ｉ値△２７.３となっており、来期については今期から打って変わり、落ち込んでいくと予測されております。

資　金　繰　前年比で「好転した」と答えた企業割合は１８.２％、「悪化した」と答えた企業割合が４５.５％、Ｄ・Ｉ値△２７.３、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が１８.２％、「悪化する」と答えた企業割合が４５.５％、Ｄ・Ｉ値△２７.３となっており、売上高同様に資金繰りについても落ち込み傾向になっていくと予測されております。

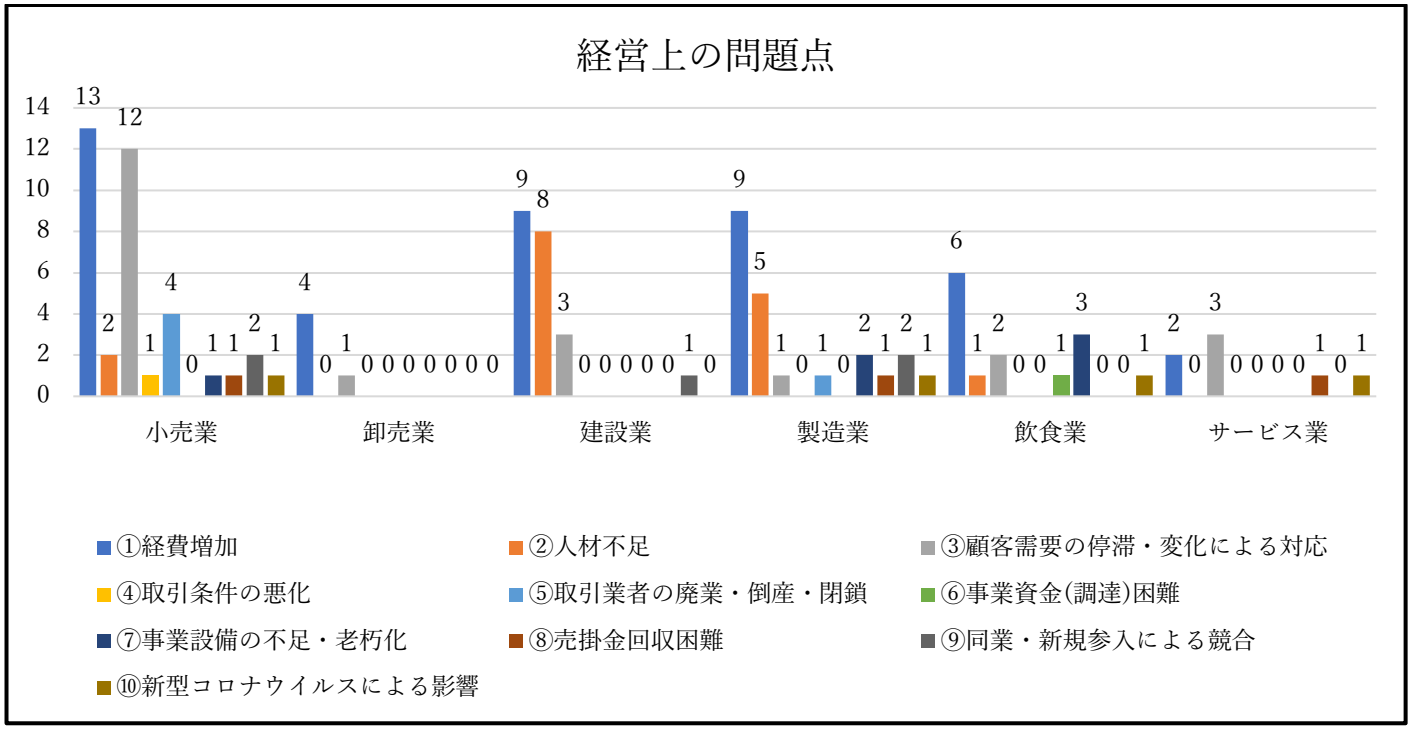
5）飲　食　業　売　上　高　前年比で「好転した」と答えた企業割合が６６.７％、「悪化した」と答えた企業割合が１１.１％、Ｄ・Ｉ値５５.６となっており、来期の見通しをみると今期同様に「好転する」と答えた企業割合が４４.４％、「悪化する」と答えた企業割合が２２.２％、Ｄ・Ｉ値２２.２となっており、前期に引き続き大きく回復傾向にあり、来期についても回復傾向が続いていくと予測されております。

資　金　繰　前年比で「好転した」と答えた企業割合は２２.２％、「悪化した」と答えた企業割合が３３.３％、Ｄ・Ｉ値△１１.１、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が２２.２％、「悪化する」と答えた企業割合が０.０％Ｄ・Ｉ値２２.２となっており、今期はマイナス値となっておりますが、売上が回復傾向にあるため、来期に関しては回復傾向になっていくと予測されております。

6）サービス業　売　上　高　前年比で「好転した」と答えた企業割合が５５.６％、「悪化した」と答えた企業割合が１１.１％、Ｄ・Ｉ値４４.５となっており、来期の見通しをみると今期同様に「好転する」と答えた企業割合が２２.２％、「悪化する」と答えた企業割合が２２.２％、Ｄ・Ｉ値±０.０となっており、今期は前期に引き続き回復傾向にあり、来期についても今期と同程度の回復傾向となると予測されております。

資　金　繰　前年比で「好転した」と答えた企業割合は１１.１％、「悪化した」と答えた企業割合が３３.３％、Ｄ・Ｉ値△２２.２、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が０.０％、「悪化する」と答えた企業割合が２２.２％Ｄ・Ｉ値△２２.２となっており、資金繰りに関しては、売上が回復傾向にあるのと裏腹に著しい経費の増加により、厳しい状況が続いていくと予測されております。

＜ 経 営 上 の 問 題 点 ＞



＜ 業 界 の 問 題 点 ・ 要 望 ＞

【小売業】

・町民や町内企業及び行政が、地元企業で消費活動をするように促すような事業等を希望します。
・コロナ前よりも２０％売上が戻らない。
・値上げによる景気停滞
・景気悪化による消費者の買い控えが著しい

【建設業】

・資材の値上げ等で収益が低下している。価格に転嫁するが値上げ分の全ては無理

【製造業】

・仕事量の減少
・町外への流出

【飲食業】

・コロナ前と後ではお客様の動向が変わり、動きが予測出来ません。
今後、資金調達が必要になった時の不安は常にあります。
・天候不順によるコーヒー豆収穫量の減少

【サービス業】

・物価上昇のため記念写真等渋い状態が続いております。
・いろいろなイベントがコロナ前のように戻って来ていますので、とても助かっております。
美容材料店より９月からの値上げの連絡が来ておりますので、いろいろ考えなければならないかなと思っております。以前から値上がりした材料も多々あります。